

修学旅行新聞

令和五年六月発行
担当 5組

各県の歴史や観光スポット

【福井県】

福井県には歴史的なスポットがたくさんあります。その中でも有名な丸岡城について紹介します。

この丸岡城は安土桃山時代に作られたもので織田信長の家康が治めていたようです。本能寺の変、清洲会議、関ヶ原の戦いなど歴史的な事象を受けて城主が変わった歴史スポットでもあります。現状、城の内堀が埋められたっていますが、復元する予定があり新たな歴史スポットとして多くの方が訪れる場所となります。

福井県中心地より北部に位置して霞ヶ城とも言われる北陸地方で現存する唯一の天守です。霞ヶ城とは、合戦の際に大蛇が、霞を吹いて城を隠した逸話から言われるものです。丸岡城は、日本の城100選に選ばれている現存最古の城とも言われています。現存する最古の城とも言われているため、この天守閣は、お城と言っ言葉で思い浮かぶイメージとは異なる佇まいで、質素な外観の歴史スポットとなっています。



丸岡城

【富山県】

富山には県指定文化財などの文化遺産、自然遺産を通じた歴史文化があります。

- ① 旧石器時代以降には、黒曜石が採取でき、集落ができ、「不動堂遺跡」という全国最大級の竪穴住居ができています。
- ② 弥生時代には、「よすみとしづつがたふんきゅうぼ四隅突出型墳丘墓」という珍しい形の墳墓が、王塚・千坊山遺跡群(富山市)で造られている。
- ③ 古墳時代には、今の氷見市や立山町、高岡市などに全国的に有名な古墳が作られている。
- ④ 奈良時代には、現存する日本最古の和歌集の「万葉集」には、家持の歌223首を含む、越中にまつわる歌が337首も作られています。

このように、富山にはたくさんの歴史が詰まっています。



不動堂遺跡

【石川県】

金沢は、戦国時代に加賀一向一揆の拠点として金沢御堂(尾山御坊)が築造され、その周りに町がつくられたのが始まりとされます。

- ① 栢野菅原神社という神社があり、そこには菅原神社内にある4つの神木のうち、最も大きい栢野大杉があります。
- ② 参道には浮き橋が架けられ、杉の間を通り抜ければ、樹齢2300年といわれる神木には圧倒されてしまいます。
- ③ 鶴仙峡に架かる総ひのきづくりの橋があり、下から見上げるとシンブルなデザインが周囲の自然と調和し、優美な雰囲気を感じられることができます。
- ④ 兼六園という日本三名園の一つを見ることができます。江戸時代の回遊池泉式庭園で、金沢城とは百聞掘を隔てて対峙しています。10万平方メートルを超える園内では、紅葉になると松の雪吊りの美しい姿を見ることができます。



野大杉 こおろぎ橋 兼六園

【担当からのおススメ】

昔さながらのお城や橋、神社、お寺などが自然ととても相まってその時代の美しさを感じ取れることができます。石川県では、日本三名園である「兼六園」。富山県では、集落や竪穴住居。福井県では丸岡城もいいですが化石なども有名なので福井県立恐竜博物館もおすすめです。

【参考資料】 ●とやまの文化遺産 <https://toyama-bunkaisan.jp/>

●skyticket 観光ガイド <https://skyticket.jp/guide/>

●TABIPPO <https://tabippo.net/ishikawa/>